

令和7年度  
第1回鹿屋市子ども・子育て会議



令和7年5月29日

鹿屋市 保健福祉部 子育て支援課

# 目 次

## I 報告

- 1 前回の子ども・子育て会議の報告について…………… P 1
- 2 令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実績について…………… P 3
- 3 令和7年度子育て関連施策の事業計画について…………… P 13

## II 協議

- 1 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）事業者の認可について  
…………… P 16

## III その他

- 1 今後のスケジュールについて…………… P 21

## ■ 関連資料

- 子ども・子育て会議委員名簿…………… P 22
- 子ども・子育て会議条例…………… P 23

# I 報告

## 1 令和6年度子ども・子育て会議の報告

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 令和7年2月12日（水）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 開催場所 | 鹿屋市役所 7階大会議室（ZOOM会議併用）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 出席委員 | エルメス委員、蜂谷委員、橋委員、阿蘇品委員、竹中委員、柿迫委員、矢野委員、安樂委員、森委員、角ノ上委員、泊委員、下村委員、藤井委員、吉井委員、友岡委員、有川委員、曽原委員、指宿委員、橋元委員、渡邊委員、川添委員、吉原委員、鹿倉委員                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 事務局等 | 保健福祉部長及び関係担当課長等並びに担当者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 議題   | 報告 1 令和6年度第4回子ども・子育て会議の報告<br>2 令和7年度の定員変更等の希望取下げについて<br>協議 1 こども計画（仮称）策定について<br>(1) 計画の表紙絵及び名称の選考について<br>(2) 計画（素案）パブリックコメントの実施結果について<br>(3) 計画（最終案）について<br>2 こども誰でも通園制度について<br>3 鹿屋市子ども・子育て会議条例の一部改正について<br>その他 1 令和7年度鹿屋市子ども・子育て会議スケジュール                                                                                                                                                                        |
| 会議結果 | 報告 ・令和6年度第4回子ども・子育て会議の報告<br>・令和7年度定員変更等の希望取下げについて（はらい川保育園、ふるえこども園）について事務局より報告<br>協議 ・こども計画（仮称）策定に係る内容について、資料に基づき事務局から説明を行い、表紙絵については委員投票の結果で承認。名称については事務局提案どおりで承認。計画書については、委員からの意見も踏まえつつ、関係部署等と連携しながら、最終調整を進めることで会議全員一致にて承認。<br>・こども誰でも通園制度について、資料に基づき事務局から説明を行い、国の動向を踏まえ、委員からの意見も勘案し関係機関等と調整しながら、基準や選定等の手続きを進めていくこととして会議全員一致で承認。<br>・鹿屋市子ども・子育て会議条例の一部改正について、資料に基づき事務局から説明を行い、今後、条例改正に向けた手続きを進めていくこととして会議全員一致で承認。 |

### 『主な意見等』

#### 【放課後の子どもの居場所について】

学校・地域が放課後のこどもたちの居場所を担うなど、連携をしていく必要があるのではないかと。県で放課後子どもプランに関する学習会等があり、連携をするような場を各市町村に広げてほしいという提案もあり、その点も踏まえて考え方を示していただきたい。

（回答）こどもたちの放課後の居場所づくりについては、我々も重要なことだと認識している。今後も、委員の意見を聴きながら、教育委員会とも連携しながら、前向きに取り組んでいかないとはいえないと考えている。

【こども誰でも通園制度について】

医療的ケア児や障害児など、要支援家庭のこどもに関しても、受け入れが可能か。

(回答) 配慮を要するこどもの受け入れには、専門職の配置等の問題が生じると認識している。制度としては利用可能であるが、受入施設の体制(専門職の職員配置等)を踏まえる必要がある。

【こども誰でも通園制度の配慮を要するこどもの受け入れについて】

制度を利用したい保護者が利用できる環境を望むと思うが、職員配置は大事になってくる。保健師、看護師などの方も加わりながら、保護者の方が安心して預けられる配置にするなど、取扱いはどうのようなになるか、今の時点で考えられないか。

(回答) 基準については、令和7年1月14日付けで内閣府令の公布がなされ、内閣府令に基づき市の条例等を策定予定である。内閣府令において従うべき基準として職員配置が記載されており、保育士、子育て支援員研修受講者等を受入乳幼児何名につき何名などが定められている。配慮が必要なこどもの受入のための職員配置等については今後、調査してまいりたい。

要配慮者などの受け入れに対する職員配置については、保育所等の運営を勘案した場合、看護師等の配置が望ましいと思われるが、現時点で国の基準等は示されていない。

【こども誰でも通園制度について】

令和7年度に鹿屋市は実施したいという認識の中で、実施する場合の予約方法や利用施設の制限(1家族1施設など)、また、いつから予約が可能か、当日利用は可能かなど、制度の中で表記はされていくのか。

(回答) 令和7年度からの実施には議会等への説明も必要であり、精査中である。今回、条例や内容の素案について委員のご意見を賜りながら令和7年度の開始を検討したい。実施には、事業者募集や認可も要するため、4月開始は難しいと考えている。利用には、保護者が市に申請、市は認定書を交付、保護者は施設と利用調整を直接行い、予約等を実施することとなる。予約方法(電話又はメール)は施設ごとに異なる。当日予約、当日利用については、職員配置など各施設の受入態勢が関係するため理解いただきたい。原則1人あたり1施設利用。こども達が同年代のこどもとの触れ合いや関りを経験することや、保護者が育児の悩みを保育士等に相談できるようなど、質を確保しながら施設と調整し使いやすい制度設計を心がけたい。また、国において制度のシステム構築を検討しているため、本市でも取り入れることで保護者等の利便性の向上にもつなげたい。

内閣府令が発出され約1か月しか経過していないため明確に回答できないこともあるが、制度の検討を進め、利用開始になる際には、様々な情報を改めてお知らせしたい。

【医療的ケア児、重心障害児の保育所等の受入体制について】

なかなか受け入れ可能な施設がないのが現状である。鹿屋市に受け入れ施設がなく、他自治体へ転出し入所した方がいるという事例を耳にした。利用する保護者の立場から考えたときに、市内の施設において、どこの施設が、医療的ケア児等が受け入れ可能なのか調べるのはかなり大変なことで、もう少し視覚的に分かりやすい環境になればと思っている。

(回答) 保育所等における医療的ケア児等の受入について貴重なご意見をいただいた。本市においては、現在、2施設(3月からは1施設追加して合計3施設)で医療的ケア児の受け入れをしている。保護者から、問合せがあった際は、それらの施設の体制を確認しながら、入所に向けて調整を行っているところであるが、場合によっては、希望に添えないこともあるのは事実である。

## 2 令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実績について

### (1) 子育て支援施策における本市の現状

#### ▶ 出生数の推移

(単位：人)

|      | H30     | R1      | R2      | R3      | R4      | R5      |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 全国   | 918,400 | 865,239 | 840,835 | 811,622 | 770,759 | 727,277 |
| 鹿児島県 | 12,956  | 11,977  | 11,638  | 11,618  | 10,540  | 9,868   |
| 鹿屋市  | 963     | 910     | 908     | 869     | 790     | 788     |

※厚生労働省、鹿児島県の人口動態調査

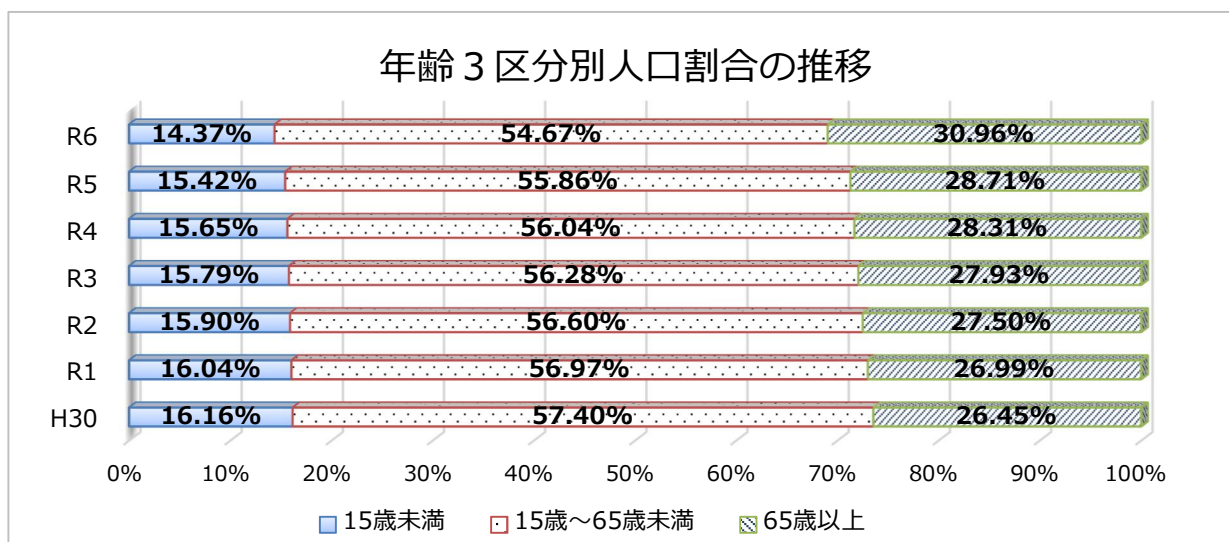
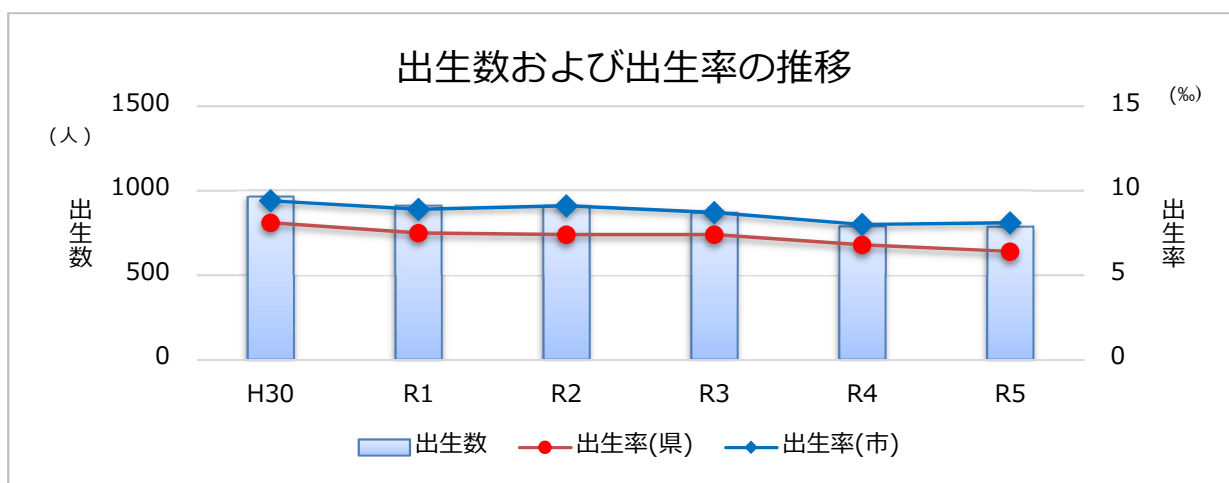
#### ▶ 出生率の推移

(単位：‰)

|      | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全国   | 7.4 | 7.0 | 6.8 | 6.6 | 6.3 | 6.0 |
| 鹿児島県 | 8.1 | 7.5 | 7.4 | 7.4 | 6.8 | 6.4 |
| 鹿屋市  | 9.4 | 8.9 | 9.1 | 8.7 | 8.0 | 8.1 |

※厚生労働省、鹿児島県の人口動態調査

【出生率】 一定人口に対するその年の出生数の割合。一般的には人口1,000人当たりにおける出生数を指す。

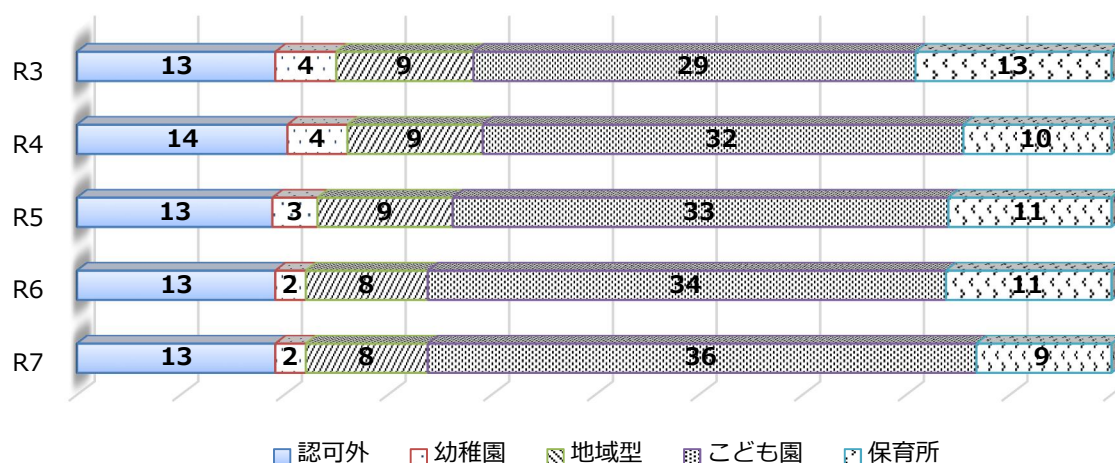


### ▶ 保育所・幼稚園等の市内施設数の推移

(単位：人)

| 区分       | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|----------|----|----|----|----|----|
| 保育所      | 13 | 10 | 11 | 11 | 9  |
| 認定こども園   | 29 | 32 | 33 | 34 | 36 |
| 幼保連携型    | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| 保育所型     | 8  | 11 | 11 | 11 | 13 |
| 幼稚園型     | 1  | 1  | 2  | 3  | 3  |
| 地域型保育事業  | 9  | 9  | 9  | 8  | 8  |
| 幼稚園      | 4  | 4  | 3  | 2  | 2  |
| 認可外保育施設  | 13 | 14 | 13 | 13 | 13 |
| 保育所、事業所内 | 6  | 6  | 5  | 5  | 5  |
| 企業主導型    | 7  | 8  | 8  | 8  | 8  |
| 合計       | 68 | 69 | 69 | 68 | 68 |

保育所等の施設数の推移



### ▶ 保育所・幼稚園等の定員の推移（R7.4.1現在）

(単位：人)

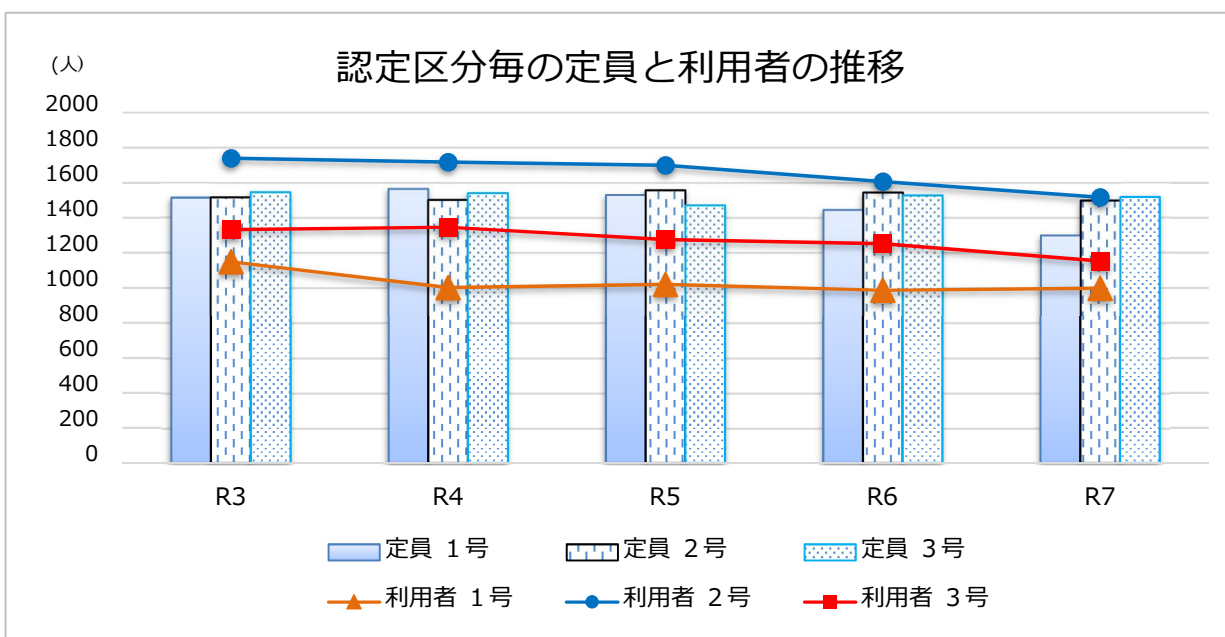
| 区分           | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 保育所等 ①       | 3,928 | 3,958 | 4,153 | 4,177 | 4,037 |
| 保育所          | 840   | 635   | 695   | 685   | 565   |
| 認定こども園       | 2,905 | 3,140 | 3,275 | 3,320 | 3,305 |
| 地域型保育事業所     | 183   | 183   | 183   | 172   | 167   |
| 幼稚園 ②        | 650   | 650   | 470   | 340   | 280   |
| 小計 (①+②)     | 4,578 | 4,608 | 4,623 | 4,517 | 4,317 |
| 認可外保育施設 ③    | 483   | 439   | 357   | 354   | 303   |
| 保育所、事業所内     | 277   | 214   | 125   | 122   | 74    |
| 企業主導型        | 206   | 225   | 232   | 232   | 229   |
| 合計 (①+②+③) ④ | 5,061 | 5,047 | 4,980 | 4,866 | 4,620 |

## ▶ 保育所・幼稚園等の利用者の推移（R7.4.1現在）

（単位：人）

| 区分          | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 保育所等 ①      | 3,743 | 3,648 | 3,695 | 3,623 | 3,450 |
| 保育所         | 867   | 667   | 686   | 661   | 508   |
| 認定こども園      | 2,783 | 2,877 | 2,927 | 2,884 | 2,869 |
| 地域型保育事業所    | 93    | 104   | 82    | 78    | 73    |
| 幼稚園 ②       | 478   | 418   | 299   | 221   | 218   |
| 小計（①＋②）     | 4,221 | 4,066 | 3,994 | 3,844 | 3,668 |
| 認可外保育施設 ③   | 277   | 293   | 242   | 217   | 198   |
| 保育所、事業所内    | 125   | 139   | 60    | 28    | 18    |
| 企業主導型       | 152   | 154   | 182   | 189   | 180   |
| 合計（①＋②＋③） ④ | 4,498 | 4,359 | 4,236 | 4,061 | 3,866 |

※利用者数には、市外施設への入所者(108人)を含む。



## ▶ 年齢別利用者数（R7.4.1現在）

（単位：人）

| 区分           | 0歳    | 1歳   | 2歳   | 3歳    | 4歳   | 5歳   | 合計    |
|--------------|-------|------|------|-------|------|------|-------|
| 推計人口(第3期計画)  | 703   | 745  | 781  | 833   | 873  | 909  | 4,844 |
| 保育所等 ①       | 94    | 482  | 577  | 757   | 744  | 796  | 3,450 |
| 保育所          | 20    | 66   | 94   | 105   | 121  | 102  | 508   |
| 認定こども園(1号)   |       |      |      | 290   | 250  | 240  | 780   |
| 認定こども園(2・3号) | 69    | 382  | 449  | 362   | 373  | 454  | 2,089 |
| 地域型保育事業所     | 5     | 34   | 34   |       |      |      | 73    |
| 幼稚園 ②        |       |      |      | 57    | 70   | 91   | 218   |
| 認可外保育施設 ③    | 28    | 64   | 61   | 16    | 16   | 13   | 198   |
| 保育所、事業所内     | 0     | 9    | 6    | 1     | 1    | 1    | 18    |
| 企業主導型        | 28    | 55   | 55   | 15    | 15   | 12   | 180   |
| 合計（①＋②＋③）    | 122   | 546  | 638  | 830   | 830  | 900  | 3,866 |
| 利用率(合計/推計人口) | 17.3  | 73.2 | 81.6 | 99.6  | 95.0 | 99.0 | 79.8  |
| 割合           | 58.5% |      |      | 97.8% |      |      |       |

※利用者数には、市外施設への入所者(108人)を含む。

※地域型保育事業の利用数は従業員枠を含む。

(参考) 女性の就業率の推移

(単位: %)

| R2   | R3   | R4   | R5   | R6   |
|------|------|------|------|------|
| 51.8 | 52.2 | 53.0 | 53.6 | 54.2 |

※総務省統計局「労働力調査(基本集計)2024年(令和6年)平均」

## ▶教育・保育施設の量の見込み(利用者数)と確保方策(定員)

(単位: 人)

| 認定区分        | 教育    | 保育    |       |       | 合計    |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             | 1号    | 2号    | 3号    | 小計    |       |
| 量の見込み       | 934   | 1,677 | 1,318 | 2,995 | 3,929 |
| 確保方策        | 1,555 | 1,572 | 1,492 | 3,064 | 4,619 |
| 利用者数(A)     | 998   | 1,517 | 1,153 | 2,670 | 3,668 |
| 定員(B)       | 1,300 | 1,499 | 1,518 | 3,017 | 4,317 |
| (B) - (A)   | 302   | ▲18   | 365   | 347   | 649   |
| 弾力運用後の受入可能数 |       | 1,724 | 1,746 | 3,470 |       |

※認可外保育施設(保育所、事業所内、企業主導型)は含まない。

※利用者数には、市外施設への入所者(108人)を含む。

※弾力運用後は保育部分の定員(B)の115%で算出している。(小数点以下四捨五入)

## ▶保育(2・3号)における年齢毎の潜在的待機児童

(単位: 人)

|        | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| R5.4.1 | 3  | 14 | 4  | 4  | 2  | 1  | 28 |
| R5.9.1 | 30 | 12 | 3  | 4  | 1  | 0  | 50 |
| R6.3.1 | 59 | 10 | 3  | 5  | 2  | 0  | 79 |
| R6.4.1 | 4  | 7  | 10 | 4  | 6  | 0  | 31 |
| R6.9.1 | 20 | 13 | 9  | 3  | 6  | 0  | 51 |
| R7.3.1 | 35 | 18 | 10 | 3  | 4  | 0  | 70 |
| R7.4.1 | 3  | 9  | 6  | 2  | 0  | 1  | 21 |

## 【潜在的待機児童】

保育所等の入所申込申請時に第3希望まで施設を記入可能であるが、第3希望までの施設への入所が定員等の関係でできず、他の施設に入所が可能な状況があり保護者に施設を紹介しても、希望したいいずれかの施設に入所したいと考えている場合は、潜在的待機児童としている。

国の待機児童調査では、特定の保育施設を希望している場合は、待機児童の数値から除外することができるという定義がある。

## (2) 地域子ども・子育て支援事業の実績

### ① 利用者支援事業【こども家庭課】

母子保健に関する相談に対応するため、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して相談支援を実施しています。

【実施場所：こども家庭課（本庁1階 14番窓口）】

- ・母子健康手帳の交付 ・来所相談 ・電話相談 ・訪問指導 ・プラン作成
- ・関係機関との連携、ケース会議 ・妊娠、出産、子育てに係る情報提供
- ・妊娠中の健康管理、子どもの計測、発育発達の相談 など

[実績]

|            |       | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 実施箇所数      | 量の見込み | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
|            | 確保方策  | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
|            | 実績    | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| (参考)延べ利用者数 |       | 1,913 | 1,924 | 2,037 | 2,017 | 2,062 |

### ② 地域子育て支援拠点事業【子育て支援課】

概ね3歳未満の児童とその保護者が気軽に集い、一緒に遊びながら交流する場を提供するとともに、子育てに役立つ情報をお知らせするほか、子育てに関する悩みについて相談を行う事業です。

【実施施設】

| 施設名          | 設置場所        | 開設日        |
|--------------|-------------|------------|
| 子育て交流プラザ     | 県民健康プラザ     | 火～日        |
| つどいの広場「ひよこ」  | 東地区学習センター   | 月・水・金      |
| つどいの広場「りな」   | リナシティかのや    | 月～金(祝日は除く) |
| つどいの広場「ふれあい」 | 串良ふれあいセンター  | 月・水・金      |
| つどいの広場「ひまわり」 | 西原地区学習センター  | 月・水・金      |
| つどいの広場「バンビ」  | 田崎地区学習センター  | 月・水・金      |
| つどいの広場「太陽の丘」 | 西原台小学校となり   | 火～金・日      |
| ふたば RC ルーム   | 二葉保育園旧園庭となり | 月～金(祝日は除く) |
| わかば楽楽        | わかば保育園併設    | 月～金(祝日は除く) |

【利用料金】無料(※講習会、イベント内容によっては材料費等の負担あり)

[実績]

|              |       | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1月あたりの平均延べ人数 | 量の見込み | 1,421 | 1,378 | 1,337 | 1,903 | 1,903 |
|              | 確保方策  | 1,421 | 1,378 | 1,337 | 1,903 | 1,903 |
|              | 実績    | 906   | 1,554 | 2,187 | 3,145 | 3,095 |
| 実施箇所数        | 確保方策  | 7     | 7     | 7     | 7     | 7     |
|              | 実績    | 8     | 8     | 8     | 9     | 9     |

### ③ 妊婦健康診査【健康増進課】

妊娠から出産までに必要とされる 14 回の妊婦健康診査を全額公費負担にすることで、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るとともに、疾病や異常の早期発見、早期治療について助言し、安心して出産できるように支援する事業です。

【実施施設】市内の産婦人科、鹿児島県医師会に所属の県内の産婦人科、鹿児島市立病院、鹿児島大学病院、鹿屋医療センター、県立大島病院、都城市北諸県郡医師会、国立病院機構都城医療センター、助産院ここいやし、里帰り出産等による他県での受診も可能

(参考) 妊婦歯科健診(妊娠中 1 回)、実施施設：鹿屋市歯科医師会、肝付歯科医師会に所属する協力歯科医院、会外 5 歯科医院

|               | R2             | R3             | R4             | R5             | R6             |
|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 受診者数<br>(受診率) | 401<br>(42.2%) | 419<br>(46.3%) | 367<br>(44.6%) | 356<br>(47.5%) | 306<br>(43.3%) |

[実績]

|             |       | R2     | R3     | R4    | R5    | R6    |
|-------------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 延べ回数        | 量の見込み | 10,924 | 10,622 | 9,463 | 9,703 | 9,573 |
|             | 確保方策  | 10,924 | 10,622 | 9,463 | 9,703 | 9,573 |
|             | 実績    | 10,786 | 10,723 | 9,232 | 8,903 | 7,949 |
| 受診券配布<br>窓口 | 確保方策  | 1      | 1      | 1     | 1     | 1     |
|             | 実績    | 1      | 1      | 1     | 1     | 1     |

### ④ 乳児家庭全戸訪問事業【健康増進課】

すべての乳児がいる家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き子育てに関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結びつけることを目的とした事業です。

【対象者】 生後 2 か月～ 4 か月までの乳児のいるすべての家族

【訪問者】 保健師・助産師・母子保健推進員等

【実施内容】 ①育児に関する不安や悩みの聴取、相談

②子育て支援に関する情報提供

③養育環境等の把握（質問票による聞き取り）

[実績]

|      |       | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  |
|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数   | 量の見込み | 713 | 693 | 710 | 681 | 672 |
|      | 確保方策  | 713 | 693 | 710 | 681 | 672 |
|      | 実績    | 687 | 728 | 686 | 643 | 485 |
| 対応箇所 | 確保方策  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
|      | 実績    | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |

⑤ 子育て短期支援事業【こども家庭課】  
(短期入所生活援助(ショートステイ)事業)

保護者が疾病、出産、看護、事故、災害等の社会的理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童を児童養護施設等で預かる短期入所生活援助(ショートステイ)事業です。

**【対象児童】** 18歳未満の児童  
**【利用期間】** 原則7日以内  
**【利用料金(1日)】** 2歳未満の児童・・・8,650円      2歳以上の児童・・・4,740円  
                                 ※所得に応じた軽減措置あり  
**【実施施設】** 2歳未満の児童・・・かのや乳児院(寿8丁目)  
                                 2歳以上の児童・・・児童養護施設大隅学舎(西原2丁目)】

[実績]

|      |       | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|------|-------|----|----|----|----|----|
| 延べ人数 | 量の見込み | 70 | 70 | 70 | 59 | 59 |
|      | 確保方策  | 70 | 70 | 70 | 59 | 59 |
|      | 実績    | 24 | 31 | 20 | 35 | 70 |
| 契約施設 | 確保方策  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |
|      | 実績    | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |

⑥ **子育て援助活動支援事業【子育て支援課】**  
(ファミリー・サポート・センター事業)

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

【対象児童】原則として小学生以下(※障がいのある子どもにあっては18歳まで)  
 【利用時間及び利用料金】月～金 (午前7時～午後7時) 600円/1時間  
 土、日、祝 (午前7時～午後7時) 700円/1時間  
 【実施場所】社会福法人 鹿屋市社会福祉協議会

[実績]

|                  |       | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  |
|------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 延べ人数             | 量の見込み | 400 | 400 | 400 | 450 | 450 |
|                  | 確保方策  | 400 | 400 | 400 | 450 | 450 |
|                  | 実績    | 400 | 503 | 647 | 572 | 475 |
| (参考) 延べ人数 (未就学児) |       | 592 | 351 | 412 | 260 | 219 |

## ⑦ 一時預かり事業【子育て支援課】

家庭において一時的に保育が困難になった乳幼児について、保育所、幼稚園その他の場所で一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

### ア 幼稚園型

【対象者】 幼稚園、認定こども園に在籍する1号認定(満3歳以上)の幼児  
 【利用時間】 各園の教育時間の前後(概ね7時から18時まで)  
 【利用料金】 概ね1日450円※各実施施設により異なります  
 【実施場所】 認定こども園

#### [実績]

|      |       | R2      | R3      | R4      | R5      | R6      |
|------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 延べ人数 | 量の見込み | 108,702 | 150,822 | 153,252 | 107,439 | 111,472 |
|      | 確保方策  | 108,702 | 150,822 | 153,252 | 107,439 | 111,472 |
|      | 実績    | 120,964 | 98,135  | 82,386  | 92,679  | 97,288  |
| 実施箇所 | 確保方策  | 29      | 33      | 34      | 30      | 32      |
|      | 実績    | 27      | 28      | 27      | 29      | 29      |

### イ 一般型

【対象者】 主として保育所、幼稚園、認定こども園に在籍していない乳幼児  
 【利用時間】 概ね7時から18時まで(※各実施施設により異なります)  
 【利用料金】 概ね1日2,000円(※各実施施設により異なります)  
 【実施施設】 保育所、認定こども園

#### [実績]

|      |       | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 延べ人数 | 量の見込み | 6,190 | 6,054 | 5,867 | 967   | 941   |
|      | 確保方策  | 6,190 | 6,054 | 5,867 | 967   | 941   |
|      | 実績    | 1,540 | 1,193 | 1,240 | 1,208 | 1,734 |
| 契約施設 | 確保方策  | 7     | 7     | 7     | 9     | 9     |
|      | 実績    | 7     | 8     | 9     | 12    | 13    |

## ⑧ 延長保育事業【子育て支援課】

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用時間以外の時間において、保育所等で引き続き保育を実施する事業です。

- 【対象児童】 保育所等に入所している児童  
 【利用時間】 概ね 18 時以降（30 分延長または 1 時間延長）  
 【利用料金】 実施施設毎に設定  
 【実施場所】 保育所、認定こども園

[実績]

|      |       | R2    | R3    | R4    | R5  | R6  |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|
| 延べ人数 | 量の見込み | 1,282 | 1,257 | 1,232 | 900 | 810 |
|      | 確保方策  | 1,282 | 1,257 | 1,232 | 900 | 810 |
|      | 実績    | 1,235 | 1,080 | 992   | 918 | 803 |
| 実施箇所 | 確保方策  | 27    | 27    | 27    | 25  | 25  |
|      | 実績    | 27    | 25    | 25    | 29  | 29  |

## ⑨ 病児保育事業【子育て支援課】

病気によって保育所等に預けられない児童を、保護者の勤務の都合等により家庭で保育できない場合に、病院に併設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う事業です。

- 【対象児童】 当面症状の急変が認められないが、病気の回復期に至っていないことから、集団保育が困難であり、かつ保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な児童であって、市が必要と認めた乳幼児又は小学校に就学している児童  
 【利用時間】 月～金：8:00～18:00、土：8:00～12:00※日・祝・クリニック休診日は休み  
 【利用料金】 1 日当たり：0～2,000 円（※市民税所得割額に応じて）※R7～鹿屋市民無料  
 【実施施設】 まつだこどもクリニック併設「森のくまさん家」

[実績]

|      |       | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  |
|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 延べ人数 | 量の見込み | 901 | 901 | 901 | 901 | 901 |
|      | 確保方策  | 901 | 901 | 901 | 901 | 901 |
|      | 実績    | 461 | 623 | 629 | 654 | 621 |
| 実施箇所 | 確保方策  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
|      | 実績    | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |

## ⑩ 放課後児童健全育成事業【子育て支援課】 (放課後児童クラブ)

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

【対象児童】 小学校に就学している全児童（小学6年生まで）  
 【利用時間】 授業終了後から概ね 19:00 まで（児童クラブごとに時間を設定）  
 【利用料金】 概ね月 6,000 円（児童クラブ毎に利用料金を設定）  
 【実施施設】 社会福祉法人等

[実績]

|       |       | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 登録児童数 | 量の見込み | 1,895 | 2,038 | 2,197 | 2,110 | 2,149 |
|       | 確保方策  | 1,895 | 2,038 | 2,197 | 2,110 | 2,149 |
|       | 実績    | 2,083 | 2,192 | 2,067 | 1,969 | 2,131 |
| 実施箇所  | 確保方策  | 32    | 33    | 34    | 34    | 34    |
|       | 実績    | 32    | 32    | 33    | 35    | 35    |

## ⑪ 実費徴収に係る補足給付を行う事業【子育て支援課】

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、新制度未移行幼稚園に対して保護者が支払うべき、給食（副食材料費）の提供に要する費用を助成する事業です。

【実施施設】 新制度未移行幼稚園

[実績]

|    |       | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 量の見込み | 260 | 179 | 179 | 120 | 120 |
|    | 確保方策  | 260 | 179 | 179 | 120 | 120 |
|    | 実績    | 191 | 168 | 164 | 98  | 73  |

### 3 令和7年度事業実施計画

**新** …新たな取組

**拡** …既存の取組内容や対象の拡大

#### ■ 子育て家庭支援策の充実【子育て支援課】

子育て家庭の経済的な負担の軽減を図るとともに、多様な保育サービスの充実を図ります。

##### **拡** ▶ かわいい孫への贈り物事業の拡充

市内に住所を有する乳児の保護者に交付する育児用品購入助成券（乳児1人あたり12,000円分）について、第2子以降の交付額を増額します。

| 対象の乳児 | 乳児1人あたりの交付額 |
|-------|-------------|
| 第2子   | 18,000円     |
| 第3子以降 | 24,000円     |



##### **拡** ▶ 病児保育の無償化

体調不良などで集団保育等ができない子どもを、仕事や疾病、冠婚葬祭などの都合により、保護者が家庭で保育できない場合に利用できる病児保育について、利用料を**無償化**します。

※対象：市が委託する病児保育施設

##### **新** ▶ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

保育施設等を利用していない乳児等が、保護者の就労要件を問わず柔軟に保育施設等を利用できるよう、事業を実施する保育施設等に対する補助を実施します。

| 対象年齢        | 補助対象時間     |
|-------------|------------|
| 0歳6か月～満3歳未満 | 上限：月10時間/人 |

##### **拡** ▶ 子ども医療費の完全無償化（窓口負担ゼロ）

こどもの健康増進と健やかな育成に寄与するため、これまで無償化していた0歳～18歳の子ども医療費の給付方式を拡充し、**全ての子どもの窓口負担をなくし、完全無償化**します。

※18歳に達する日以降の最初の3月31日まで

##### **拡** ▶ 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業

児童の安全・安心な居場所を確保するため、また、次世代を担う児童の健全な育成に資するため、放課後児童支援員の資金改善に**必要な経費の補助**を行い、放課後児童支援員の処遇を改善します。

## ■ 妊産婦の産前・産後支援【こども家庭課】

母親の出産・育児に関する不安等の心身のケアの充実を図り、安心して地域で生み育てることができる環境や支援体制を整備します。

### 新 ▶ 遠方で出産する妊婦への経済的支援

医学的な理由等で、遠方の周産期母子医療センターで出産する妊婦に対して、**交通費・宿泊費の一部を助成**します。

### 拡 ▶ 産後ケア（育児サポート）の無償化

産後1年以内の母子が安心して子育てできる支援体制づくりのため、お母さん一人当たり（宿泊型と日帰り型を合わせて）**5日間の利用者負担額を無償化**します。

### 新 ▶ 子育て世帯訪問支援事業

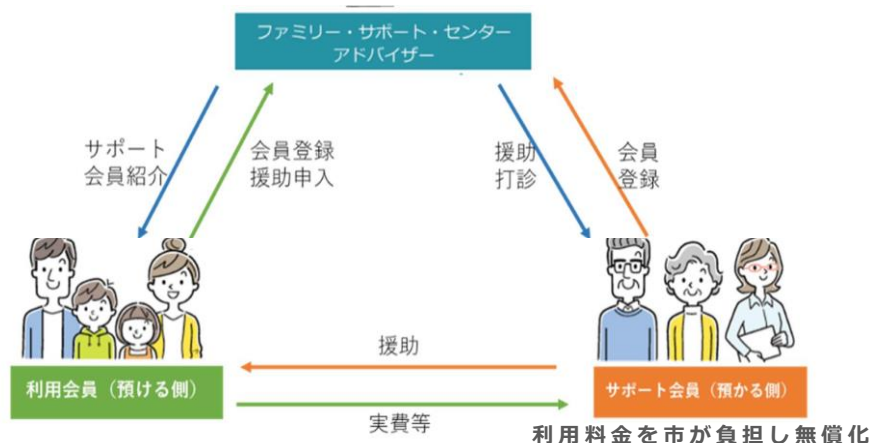
家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケラー等がいる家庭を訪問支援員が訪問し、**家事支援や育児支援**を行います。

## ■ 地域全体で支える環境の整備【子育て支援課】

地域で子育てを助け合うファミリー・サポート・センターの利用促進等により、地域みんなで子育てを支え合える環境づくりに取り組みます。

### 拡 ▶ ファミリー・サポート・センターの利用無償化

子育ての手伝いを頼みたい人（利用会員）が、子どもの預かりや送迎などをサポート会員に頼む際の利用料金を市が負担し、**無償化**します。



## ■ 若者の自立支援の充実【人口減少対策本部】

ライフプランを考える機会の提供による若者のキャリア形成支援のほか、結婚、出産、育児を希望する若者に対する出会い・結婚への支援を推進します。

### 拡 ▶ 社会人向けライフデザインセミナーの実施

市内の若手社会人を対象に、結婚、子育て等のライフプランに必要な知識や情報等を学べる**セミナーと交流会を開催**します。

### 拡 ▶ ICTを活用した婚活イベント等の実施

結婚に向けた出会いの場づくりとして、婚活イベントを新たに**メタバース上でも実施**するほか、無料結婚相談会の開催、SNSを活用した結婚支援情報の発信など、様々な市内の若手社会人を対象に、結婚、子育て等のライフプランに必要な知識結婚ニーズに対応するきめ細やかな取組を展開します。

## ■ 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進【生涯学習課】

家族とのふれあいを通じて、こどもたちが基本的な生活習慣や生活能力、思いやりなどを身に付けるための家庭教育を支援します。

### 拡 ▶ 家庭教育支援の充実

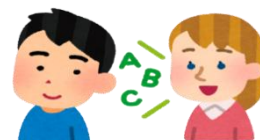
家庭教育の理解促進や必要な家庭への支援を行き届かせるため、**家庭教育アドバイザーとサポーターを設置**し、各地域でのサロン活動や検診会場等での啓発活動に出向くなど、積極的なアプローチを実施します。

## ■ 地域特性を生かした教育の推進【学校教育課】

郷土に誇りを持ちグローバル社会において活躍できるグローバル人材の育成事業を推進するとともに、台湾の小・中・高等学校との英語を通じた交流による英語教育の質の向上を図ります。

### 拡 ▶ グローカル教育の推進

**台湾との協定校を拡大**するとともに、台湾の児童生徒等との相互交流の取組を拡大します。



## Ⅱ 協議

### 1 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）事業者の認可について

#### ▶令和7年度鹿屋市こども誰でも通園制度試行的事業事業申込書提出時内容

児童福祉法第34条の15第4項の規定（乳児等通園支援事業の認可をしようとするときは、あらかじめ、鹿屋市子ども・子育て会議の意見を聴くものとしていること）に基づき、協議事項としてお諮りするものです。

【認可申請希望施設】

※5月28日時点の申請内容

| 小学校区 |    | 施設名               | 定員 |    |    |    | 実施方法           | 利用方法         |
|------|----|-------------------|----|----|----|----|----------------|--------------|
|      |    |                   | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 合計 |                |              |
| 大黒   | 1  | 大黒保育園             | 1  | 1  | 1  | 3  | 一般型<br>(在園児合同) | 自由利用         |
| 上小原  | 2  | 上小原<br>認定こども園     | 1  | 1  | 1  | 3  | 余裕活用型          | 定期利用         |
| 西原台  | 3  | 敬心保育園             | 1  | 1  | 1  | 3  | 一般型<br>(在園児合同) | 定期利用<br>自由利用 |
| 鹿屋   | 4  | 白崎保育園             | 2  | 2  | 2  | 6  | 一般型<br>(在園児合同) | 定期利用<br>自由利用 |
|      | 5  | 杉の子保育園            | 3  | 0  | 3  | 6  | 一般型<br>(在園児合同) | 定期利用<br>自由利用 |
| 高隈   | 6  | 高隈こども園            | 5  | 5  | 10 | 20 | 余裕活用型          | 定期利用<br>自由利用 |
| 下名   | 7  | 瑞穂保育園             | 5  | 3  | 0  | 8  | 余裕活用型          | 定期利用         |
| 大始良  | 8  | 和光幼保連携型<br>認定こども園 | 3  | 2  | 3  | 8  | 一般型<br>(在園児合同) | 定期利用<br>自由利用 |
| 東原   | 9  | ひがしはら<br>認定こども園   | 5  | 5  | 5  | 15 | 余裕活用型          | 定期利用<br>自由利用 |
| 笠野原  | 10 | ひなぎく保育園           | 0  | 0  | 1  | 1  | 一般型<br>(在園児合同) | 定期利用<br>自由利用 |
| 寿    | 11 | チャイルドハウス<br>花     | 2  | 4  | 4  | 10 | 一般型<br>(独立施設)  | 定期利用<br>自由利用 |
|      | 12 | 愛育園               | 2  | 2  | 2  | 6  | 一般型<br>(在園児合同) | 定期利用<br>自由利用 |
| 西原   | 13 | 第二高須保育園           | 5  | 0  | 0  | 5  | 余裕活用型          | 定期利用<br>自由利用 |
|      | 14 | 信愛こどもの園           | 1  | 2  | 2  | 5  | 一般型<br>(在園児合同) | 定期利用<br>自由利用 |

※余裕活用型…保育所等において、利用児童が定員に達しない場合に、保育所等の範囲内で受入れ

※一般型…保育所定員とは別に、定員を設定

〔在園児合同〕専用スペースは設けない 〔専用室独立〕専用スペースを設ける

〔独立施設〕保育所等と併設ではなく、独立した施設を設ける

▶本市の認可の要件

| 主な事項   | 余裕活用型                             | 一般型（在園児合同・専用室独立・独立施設）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象施設   | 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等（居宅訪問型保育事業を除く） | 保育所、認定こども園、小規模保育所、家庭的保育事業所、事業所内保育事業所、幼稚園等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 設備の基準  | 各施設の基準を順守                         | 【0～1歳児】乳児室：1.65㎡/人 又は<br>ほふく室：3.3㎡/人<br>【2歳児以上】支援室又は遊戯室：1.98㎡/人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 人員配置基準 | 各施設の基準を順守                         | <p>【0歳】3:1 【1・2歳】6:1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育従事者（保育士、子育て支援員、家庭的保育者）を配置し、半数以上は保育士とする。</li> <li>・保育従事者の数は2名を下ることはできない。</li> </ul> <p>※在園児合同のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所と一体的に事業を実施し、当該職員の支援を受けられる場合は、保育士1名とすることができる。</li> </ul> <p>&lt;利用児童数が3人以下の場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的保育者を保育士とみなせる。</li> <li>・保育所等と一体的に事業を運営し、当該保育所等を利用している乳幼児と同一の場所において事業を実施する場合は、保育従事者に子育て支援員を1名配置することができる。</li> </ul> |

| 主な事項     | 内容                                                                                                                   |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 非常災害対策   | 乳児等通園支援事業者は、少なくとも毎月一回、避難及び消火に関する訓練を行わなければならない                                                                        |
| 安全計画の策定等 | 乳児等通園支援事業所の設備の安全点検、乳児等通園支援事業所での生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修及び訓練その他乳児等通園支援事業所における安全に関する事項についての計画を策定し、必要な措置を講じなければならない |
| 自動車運転    | 乳児等通園支援事業者は、利用乳幼児の移動のために自動車を運行するときは、利用乳幼児の乗車及び降車の際に、点呼その他の方法により、利用乳幼児の所在を確認しなければならない                                 |
| 職員の一般的要件 | 乳児等通園支援事業者の職員は、健全な心身を有し、豊かな人間性と倫理観を備え、児童福祉事業に熱意のある者であって、できる限り児童福祉事業の理論及び実際について訓練を受けたものでなければならない など                   |
| 利用乳幼児の取扱 | 乳児等通園支援事業者は、利用乳幼児の国籍、信条、社会的身分又は利用に要する費用を負担するか否かによって、差別的取扱いをしてはならない                                                   |
| 虐待等の防止   | 乳児等通園支援事業者の職員は、利用乳幼児に対し、心身に有害な影響を与える行為をしてはならない                                                                       |
| 衛生管理等    | 乳児等通園支援事業者は、利用乳幼児の使用する設備、食器等又は飲用に供する水について、衛生的な管理に努め、又は衛生上必要な措置を講じなければならない ほか                                         |
| 食事       | 乳児等通園支援事業者は、食事の提供を行う場合においては、必要な調理のための加熱、保存等の調理機能を有する設備を備えなければならない                                                    |

| 主な事項   | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内部の規程  | <p>乳児等通園支援事業者は、次に掲げる乳児等通園支援事業の運営についての重要事項に関する規程を定めておかなければならない</p> <p>(1)事業の目的及び運営の方針 (2)提供する乳児等通園支援の内容</p> <p>(3)職員の職種、員数及び職務の内容</p> <p>(4)乳児等通園支援の提供を行う日及び時間並びに行わない日</p> <p>(5)保護者から受領する費用の種類、支払を求める理由及びその額</p> <p>(6)乳児、幼児の区分ごとの利用定員</p> <p>(7)利用の開始、終了に関する事項及び利用に当たっての留意事項</p> <p>(8)緊急時等における対応方法 (9)非常災害対策</p> <p>(10)虐待の防止のための措置に関する事項</p> <p>(11)その他乳児等通園支援事業の運営に関する重要事項</p> |
| 帳簿     | 乳児等通園支援事業所には、職員、財産、収支及び利用乳幼児の処遇の状況を明らかにする帳簿を整備しておかなければならない                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 秘密保持等  | 乳児等通園支援事業者の職員は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用乳幼児又はその家族の秘密を漏らしてはならない など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 苦情への対応 | 乳児等通園支援事業者は、その行った乳児等通園支援に関する利用乳幼児又はその保護者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置する等の必要な措置を講じなければならない など                                                                                                                                                                                                                                                                              |

児童福祉法第 34 条の 15 第 3 項各号に規定する基準を満たす必要があります（ただし社会福祉法人又は学校法人については第 4 号に掲げる基準に限ります。）。

| 項目                                 | 要件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 必要な経済的基礎があること                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不動産の貸与を受けて保育所を設置する場合の要件緩和について」（平成16年5月24日付け雇児発0524002号他）を参考にすること</li> <li>・直近の会計年度において、家庭的保育事業等を経営する事業以外の事業を含む当該主体の全体の財務内容について3年連続して損失を計上していないこと</li> </ul>                                                                                                                                                                      |
| 事業を行う者が社会的信望を有すること                 | 事業を行う者（その者が法人である場合にあっては、経営担当役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者）とする。）が社会的信望を有すること                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 実務を担当する幹部職員が社会福祉事業に関する知識又は経験を有すること | <p>① 及び②のいずれにも該当するか、又は③に該当すること</p> <p>① 実務を担当する幹部職員が保育所等において2年以上勤務した経験を有する者であるか、若しくはこれと同等以上の能力を有すると認められる者であるか、又は、経営者に社会福祉事業について知識を有するものを含むこと</p> <p>② 社会福祉事業について知識経験を有する者、保育サービスの利用者（これに準ずる者を含む）及び実務を担当する幹部職員を含む運営委員会（家庭的保育事業等の運営に関し、当該家庭的保育事業等の設置者の相談に応じ、又は意見を述べる委員会をいう）を設置すること<br/>※事業規模に応じて鹿屋市が必要と認めた場合に課す。</p> <p>③ 経営者に、保育サービスの利用者（これに準ずる者を含む）及び実務を担当する幹部職員の含むこと</p> |
| 児童福祉法第34条の15第3項第4号に掲げられた基準に該当しないこと | <p>「児童福祉法第34条の15第3項第4号（イ〜ル）に係る証明書」に記載してある事項</p> <p>イ 申請者が、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                            |

## ▶ 認可申請に伴う提出書類一覧

|    | 必要となる事項又は書類（※１）              | 様式            | 簡素化可能項目<br>（余裕活用型事業を選択した場合）                                                         |
|----|------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 乳児等通園支援事業認可申請書               | 様式 1          | ×（省略不可）                                                                             |
| 2  | 名称、種類及び位置                    | 様式 1 に記載      | 位置を示す図その他の添付書類、証明書類等については、認可書類等と重複する場合には省略可能（※２）                                    |
| 3  | 建物その他設備の規模及び構造並びにその図面        | 平面図、立面図、検査済証等 | ・ 実施場所（乳児室、ほふく室、保育室、遊戯室等）を示す平面図の審査は必要<br>・ その他立面図、検査済証等については、認可書類等と重複する場合には省略可能（※２） |
| 4  | 事業の運営についての重要事項に関する規程         | 任意書式          | ×（省略不可）                                                                             |
| 5  | 経営の責任者及び福祉の実務に当たる幹部職員の氏名及び経歴 | 様式 1 に記載      | 認可書類等と重複する場合には省略可能                                                                  |
| 6  | 収支予算書                        | 様式 2          | ×（省略不可）                                                                             |
| 7  | 事業開始の予定年月日                   | 様式 1 に記載      | ×（省略不可）                                                                             |
| 8  | 事業を行う者の履歴                    | 法人の登記簿<br>謄本  | 認可書類等と重複する場合には省略可能（※２）                                                              |
| 9  | 事業を行う者の資産状況                  | 法人の登記簿<br>謄本  | ×（省略不可）                                                                             |
| 10 | 法人の場合、その法人格を有することを証する書類      | 法人の登記簿<br>謄本  | 認可書類等と重複する場合には省略可能（※２）                                                              |
| 11 | 法人又は団体においては定款、寄付行為その他の規約     | 定款（写し）        | 既に市町村に提出済みの定款等において、第二種社会福祉事業「乳児等通園支援事業」の実施が確認できる場合には省略可能                            |

（※１）①～⑥は児童福祉法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 11 号）第 36 条の 36 第 1 項各号に掲げる事項であり、⑦～⑩は同条第 2 項各号に掲げる書類

（※２）都道府県が認可等をした保育所、幼保連携型認定こども園及び幼保連携型認定こども園以外の認定こども園については、市町村における子ども・子育て支援法第 29 条第 1 項の確認や指導監督等において把握できている場合においては省略可能。

## ▶ 第 3 期計画における令和 7 年度の量の見込みと確保方策

第 3 期鹿屋市子ども・子育て支援事業計画における、令和 7 年度の量の見込みと確保方策は以下の通りです。

|                        | 0 歳児<br>(人日/月) | 1 歳児<br>(人日/月) | 2 歳児<br>(人日/月) | 0～2 歳児<br>(人日/月) |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 量の見込み(人日/月)            | 20             | 13             | 11             | 44               |
| 確保方策(人日/月)             | 21             | 18             | 12             | 51               |
| 認可申請希望施設による希望定員数(人日/月) | 36             | 28             | 35             | 99               |

## ▶今後のスケジュール

今後のスケジュールについては、下記のとおりです。

| 日付       | 内容        | 備考       |
|----------|-----------|----------|
| 5月29日    | 子ども子育て会議  | 認可について協議 |
| 6月5日     | 認可審査会     | 庁内       |
| 6月6日～13日 | 審査結果通知    | 市→事業者    |
| 6月6日～30日 | 事業者システム登録 | 事業者      |
| 6月18日    | 広報かのや掲載   | ホームページ公開 |
| 6月23日以降  | 利用者システム登録 | 利用者      |
| 7月1日     | 制度開始      |          |

### Ⅲ その他

#### 1 令和7年度鹿屋市子ども・子育て会議スケジュール

令和7年度の鹿屋市子ども・子育て会議については、年3回の開催を予定しています。スケジュールと主な内容については、下記のとおりです。

|     | 開催（予定）日                 | 主な内容                                   |
|-----|-------------------------|----------------------------------------|
| 第1回 | 5月29日（木）<br>14:00～      | ○地域子ども・子育て支援事業の実績<br>○こども誰でも通園制度について 他 |
| 第2回 | 10月下旬または11月上旬<br>14:00～ | ○教育・保育施設の定員変更 他                        |
| 第3回 | 2月下旬<br>14:00～          | ○第1号委員の募集について 他                        |

## ■ 鹿屋市子ども・子育て会議委員名簿

| No. | 選出区分                                             | 委員名                                            | 所属団体等の名称                       | 備考 |
|-----|--------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------|----|
| 1   | 第 1 号委員<br>子どもの<br>保護者                           | エルメス <small>けいこ</small> 恵子                     | 市民委員                           |    |
| 2   |                                                  | <small>はちや</small> 蜂谷 <small>ゆか</small> 友香     | 市民委員                           |    |
| 3   |                                                  | <small>たちばな</small> 橘 <small>たくま</small> 拓真    | 市民委員                           |    |
| 4   |                                                  | <small>あそしな</small> 阿蘇品 <small>しんぞう</small> 伸三 | 市民委員                           |    |
| 5   |                                                  | <small>たけなか</small> 竹中 <small>まなみ</small> 愛美   | 市民委員                           |    |
| 6   |                                                  | <small>かきさこ</small> 柿迫 <small>まなみ</small> 愛美   | 市民委員                           |    |
| 7   | 第 2 号委員<br>学識経験者                                 | <small>やの</small> 矢野 <small>つねひろ</small> 常広    | 鹿屋市医師会                         |    |
| 8   |                                                  | <small>あんらく</small> 安楽 <small>ひろし</small> 博史   | 鹿屋市歯科医師会                       |    |
| 9   |                                                  | <small>もり</small> 森 <small>かつみ</small> 克己      | 国立大学法人鹿屋体育大学                   |    |
| 10  |                                                  | <small>ごんげん</small> 権現 <small>かずひこ</small> 一彦  | 鹿児島県大隅児童相談所                    | 断  |
| 11  |                                                  | <small>ほりのうち</small> 堀之内 <small>としお</small> 俊夫 | 鹿児島県鹿屋警察署生活安全課                 | 断  |
| 12  |                                                  | <small>しもむら</small> 下村 <small>たかし</small> 尚    | 鹿屋市小・中学校校長協会                   |    |
| 13  | 第 3 号委員<br>子ども・子<br>育て支援に<br>関する事業<br>に従事する<br>者 | <small>ふじい</small> 藤井 <small>みつはる</small> 光晴   | 児童養護施設大隅学舎                     |    |
| 14  |                                                  | <small>くがわ</small> 軀川 <small>ひさし</small> 恒     | 鹿屋乳児院                          |    |
| 15  |                                                  | <small>よしい</small> 吉井 <small>たけし</small> 健     | 鹿屋市私立幼稚園協会                     |    |
| 16  |                                                  | <small>ともおか</small> 友岡 <small>よしのぶ</small> 善信  | 鹿屋市保育会                         |    |
| 17  |                                                  | <small>ありかわ</small> 有川 <small>ふみと</small> 文人   | 鹿屋市学童保育連絡会                     |    |
| 18  |                                                  | <small>そはら</small> 曽原 <small>まいこ</small> 真維子   | 鹿屋市社会福祉協議会地域福祉課                |    |
| 19  |                                                  | <small>たてやま</small> 豎山 <small>めくみ</small> 恵美   | 鹿屋市地域組織活動代表<br>さくらんぼクラブ（母親クラブ） |    |
| 20  |                                                  | <small>いぶすき</small> 指宿 <small>ふみこ</small> 章子   | 障がい児福祉支援事務所                    |    |
| 21  | 第 4 号委員<br>その他市長<br>が必要と認<br>める者                 | <small>するが</small> 駿河 <small>りょうこ</small> 涼子   | 鹿屋特別支援学校 P T A                 | 断  |
| 22  |                                                  | <small>かわさき</small> 川崎 <small>だいすけ</small> 大輔  | 鹿屋市 P T A 連絡協議会                |    |
| 23  |                                                  | <small>わたなべ</small> 渡邊 <small>まさと</small> 正人   | 鹿屋市民生委員・児童委員連絡協議会              |    |
| 24  |                                                  | <small>かわそえ</small> 川添 <small>みやこ</small> みや子  | 鹿屋市母子寡婦福祉会                     |    |
| 25  |                                                  | <small>よしはら</small> 吉原 <small>はちろう</small> 八郎  | 鹿屋市町内会連絡協議会                    |    |
| 26  |                                                  | <small>かくら</small> 鹿倉 <small>りえ</small> 李恵     | 鹿屋商工会議所                        |    |

【委嘱期間：令和 6 年 5 月 1 日～令和 8 年 4 月 30 日（2 年以内）】

# 鹿屋市子ども・子育て会議条例

平成25年6月27日条例第30号

(趣旨)

第1条 この条例は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「支援法」という。）第72条第1項及び第3項並びにこども基本法（令和4年法律第77号。以下「基本法」という。）第13条第3項の規定に基づき、鹿屋市子ども・子育て会議（以下「子ども・子育て会議」という。）を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 子ども・子育て会議は、支援法第72条第1項各号に掲げる事務、市町村こども計画（基本法第10条第2項に規定する計画をいう。）の策定及び変更に関する事項並びにこども施策（基本法第2条第2項に規定する施策をいう。）の推進に関する事項を処理するとともに、本市の子ども・子育て支援施策に関し、市長が必要と認める事項について調査審議する。

(組織)

第3条 子ども・子育て会議は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 子どもの保護者
- (2) 学識経験者
- (3) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- (4) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、子ども・子育て会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 子ども・子育て会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。ただし、会長が互選される前に招集する会議は、市長が招集する。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 子ども・子育て会議の庶務は、保健福祉部子育て支援課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、子ども・子育て会議の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

1 この条例は、平成25年7月1日から施行する。

2 鹿屋市報酬及び費用弁償条例（平成18年鹿屋市条例第49号）の一部を次のように改正する。

附 則（令和3年3月23日条例第1号抄）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和5年3月22日条例第13号抄）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、令和7年4月1日から施行する。